

2012.1.20発行

テレマカシーとは? Terima kasih=インドネシア語で感謝を表す言葉。在宅で看取らせていただいたある方は海外旅行が大好きでした。その方が最期にご家族に残された素敵な言葉を使わせていただきました。

うりずんの門出

2012年4月、「NPO法人うりずん」が誕生します 新法人では、重い障がいをもつ子どもと家族が 地域で普通に暮らせる社会を目指していきます

このテレマカシーは、皆様への感謝の気持と 直接はお会いできない方にもあたたかな風を という思いから発行してきました

テレマカシーは、今後は市民活動の媒体として NPO 法人うりずんが発行母体となります ひばりクリニック通信テレマカシーの 長らくのご愛読ありがとうございました

発電機や修学旅行のご支援にも深謝いたします 引き続き、NPO 法人うりずんへのご支援を どうぞよろしくお願い申し上げます

> 2012年1月 開業10年の春に ひばりクリニック・うりずん 髙橋昭彦

NPO: Nonprofit Organization特定非営利活動法人





どうしてNPOを取得するの?

ひばりクリニックは個人の診療所です。そのため、 うりずんは市町が認めたレスパイトケア以外の事業を 行うことができず、経営的にも赤字状態です。しかし、看護 師やヘルパーの訪問、外出の支援、ゆきとどいた相談支援、 いつでも泊まれる短期入所など、地域ではそのすべてが不足 しています。そこで、子どもと家族の暮らしを守るため、う りぼうさんと共にNPO法人を設立して必要な事業を行い、 社会からの支援を増やし、経済的自立も目指します。

|何を目指すの?

重い障がいや病気を抱え、医療依存度の高い子ども が、成人したときに自分たちの思い描く人生を地域に 溶け込みながら過ごし、その家族が介護負担から開放されて 健康な暮らしができる社会を目指します。

なぜ認定NPOを目指すの?

最初から認定NPOを目指す理由は、2012年4月 から認定NPO参入の要件が緩和され、仮認定という 制度ができるからです。寄付し た側は仮認定NPO法人への寄 付額の4割を税額控除として、 所得税から引くことができます。 つまりこの制度を使えば寄付を集 めやすくなるのです。



なうしたら認定がとれるの?

まず、1事業年度で3,000円以上の寄付を100人 から受け、これを2事業年度続けなければなりません。 独立して生計を営む人なら100人でいいのですが、同一家計 世帯内で何人ご寄付いただいても 1 人にしかカウントされま せん。早く認定をいただきたいことから設立当初の事業年度 を2012年4月末、翌事業年度を同年5月から2013年4 月末としました。

ひばりクリニックとの関係は?

ひばりクリニックは、NPO法人うりずんの連携医療 機関であり、強力なパートナーです。髙橋は、NPO法 人うりずんの理事長(無報酬)を兼務します。

人工呼吸器をつけた高校生の



了つて来ました~ 沖縄修学旅行 ・良い出会いと、たくされの経験が、

有希の心も身体もますます元気にしてくれました~

→ いざ! 出発! ドキドキ・ワクワク

2011年11月30日7時40分、自宅をボランティアの黒崎さ んと一緒に出発。宇都宮駅で先生方と合流し、新幹線で東京駅へ、 福祉タクシーに乗り換え羽田空港にスムーズに到着しました。事前 に提出した医療機器の確認を済ませ、搭乗間際に登録しておいた 酸素ボンベに交換し(酸素ボンベ持ち込みは事前に登録が必要)セ キュリティーチェックをクリアし機内に(初めての飛行機搭乗経験 に、すでにこの辺から緊張気味の有希) 私たちは、沢山の荷物の 収納と呼吸器・酸素ボンベ等のシート固定を済ませホッとしたもの の、有希の緊張はマックス!!ジェットエンジンの振動を体感し身 体も顔もガチガチ・・・左手を担任に、右手を母に伸ばして、しっ かりと握りしめていました。

「離着陸 10 分位の、気圧の急激な変化時注意」のドクターコメ ントを思い出しながら……状態の変化を黒崎さんと確認!! 脈が緊 張から早いものの、血中の酸素濃度も問題なく、有希からの不快 な訴えも無く、ひとまずホッとしました。飛行機クリア!!

→ 良い出会いに感謝!!

14時50分那覇空港着「めんそ~れ」。

着陸直前まで降っていた雨も上がり、青空も見える好天気。温か な気候に心も身体も一気にリラックスしました。ここでも待機して 下さった帝人さん(在宅医療業者)から酸素ボンベを受け取り、福 祉タクシーに乗り込み、沖縄県立こども医療センターに向かいまし た。玄関で kukuru (沖縄バリアフリー旅行を支援されている) の鈴 木さんが笑顔で迎えて下さり、宮城雅也先生を紹介され、メディカ ルチェックして頂き「何かあったら、いつでもいらっしゃい」と温か い言葉をかけて頂き、安心して宿泊先のホテルに向かいました。

★ 友達と一緒って、やっぱり楽しい

友達・先生と合流し夕食タイム。一日目は洋食バイキング、女 子だけでテーブル囲み、大好きお肉とデザートを堪能したようです。 夜は部屋で先生・黒崎さんとおしゃべり女子会(秘密!!)で盛り上 がり、うれし・楽し・・コーフン気味で寝つかれず……。それでも二 日目は元気に、フルーツランドと美ら海水族館をみんなと楽しく廻 りました。ホテルに戻ってから、大好きなショッピングを楽しみ、 ピンクのハート型ペンダントとカチューシャを先生と選んで買って 来ました(お出かけに愛用して、沖縄で買って来たと話しています)。

▶ 経験ってスゴイ!!

三日目は那覇市内へ行く友達を見送り、一足早く帰路に着きま した。二度目の飛行機はすっかり慣れ、CA(客室乗務員)さん に手話で「コーヒー少し下さい」なんてお願いしたり、斜め後ろ の外国人の男性と何やら意気投合、積極的に飛行機の旅を楽しん でいました。

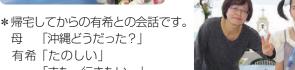


沖縄県立こども医療センターにて。向かって右から、藤井校長、宮城医師、有希さん、 担任の石嶋先生、センター医師、kukuru 鈴木さん、黒崎さん。皆さんにありがとう!



▲美ら海水族館にて ジンベイザメとマンタ、見たよ~♪

◀怪物くんジェット (羽田空港にて) これは福岡に行ってしまい、乗れません でしたが…



お母さんとゆうきさん (最終日の朝、ホテルにて)

有希「たのしい」

「また、行きたい〜」 「また、行こうね~」

有希「うん うん うん・・・」

♥今回の沖縄修学旅行は、日ごろ有希に関わって下さる方々の ご理解と沢山の方のご支援があって実現できました。

有希にとっても私(母)にとっても良い経験でした。本当に ありがとうございました。

鶴見有希(ゆうき)・信子(母) *掲載はご本人了解済み



朝ごはんの時間です。 すっかりホテルになじんでいます



藤井校長先生と。校長先生の決断な くして沖縄旅行は実現しませんでした



鈴木さん、お世話になりました



空港からリフトタクシーで移動

<ボランティア訪問看護師のことば>

テレマカシーをご愛読の皆様、新年あけましておめでとうござい ます。そして、この広報誌を通し「うりぼう」の基金に賛同していた だきました皆様、昨年は大変お世話になりました。御挨拶が遅くな りましたが、有希さんの修学旅行に同行をさせて頂きました訪問看 護師の黒崎と申します。多くの皆様の心温まる応援のお陰で、無事 に沖縄への旅行へ行って来ることができました。

有希さんとお母様にとりましては皆 様の応援は本当に心強かったと思いま すし、私自身にとりましても、大変貴重 な体験をたくさん、たくさん積むこと ができました。日常とは違う環境での 経験は、全ての人を成長させるもので あると、実感致しました。このご縁は、 今後のお子様たちへもきっと繋がって いくことと、願っております。どうぞ、 今後ともよろしくお願い致します。

(訪問看護師 黒崎雅子)



訪問看護師の里崎さんとハート です! 黒崎さん、ありがとうござ いました!

うりぼう▶ 代表 吉川かおり / 副代表 柚﨑通介 / イラスト by ゆり坊 代表者住所 ▶ 〒 336-0911 さいたま市緑区三室 636-72

メールアドレス▶ uribowithurizun@gmail.com *メッセージをお寄せ下さい。

ホームページ▶ http://www.xn--p8ja5n3b.net/

代表・副代表 所属先▶ 慶應義塾大学医学部生理学柚﨑研究室

【うりぼうからのご挨拶と二つのお願い】

の度、うりずんが『NPO 法人うりずん』として新たに始動 いたしますのに際し、『うりぼう』は、その一員としてファ ンドレイジング部門を担当させていただくことになりました。と ても光栄に思いますと同時に、責任の重さを感じております。 現在のうりぼうは、これまでのたくさんのご支援に深く感謝し、 NPO法人創業後に活動を終了させていただきますこと、ご支援 者の皆様に何卒ご了承いただきたくお願い申し上げます。

《現・うりぼうの締めくくり》 にあたり、 ご支援くださっ た皆様の想いを大切にかたちに残したい、同時に、うりず んの新たなスタートを皆様とともに祝福したい、とうりぼうは 考えました。お子様の送迎と外出に、うりずんではスロープ車 を必要としています。介護するご家族にひととき休息いただく とともに、外出の機会がほとんどないお子様たちが家族以外と の関係を築き、外の世界を経験することにもレスパイトケアの 意義があります。風の匂い、空の青さ、そして、皆様の笑顔と 出逢うお散歩にお子様たちを連れ出す夢を、うりぼう号に載せ て走らせませんか。『NPO法人うりずん』創業に際しスロープ車 を贈るため、車両価格298万円を募る大きな目標に挑戦します。 助成金獲得の努力もして参ります。書き損じのハガキや未使用 切手も大歓迎です。皆様にはぜひご寄付をお寄せいただきます ようお願い申し上げます。なお、お許しいただければ、発電機 購入設置および修学旅行へのボランティア看護師派遣の目標を 無事達成したご寄付の残高 50万円ほどを、スロープ車購入と

『NPO 法人うりずん』創業準備のために充てさせていただきたい と思います。

《新生うりぼうの初仕事》は『NPO法人うりずん』の 認定取得のための要件:3000円以上のご寄付を2事業年 度で計200名以上の方からお寄せいただくというさらなる挑戦 です。 大切なのは、 ◎ NPO 法人創業後 (登記後) = およそ4月に 入ってからのお振込みであること
②ご寄付自体が3000円以上 であることが必須のため3000円+(別途)振込み手数料である こと○1件が多額であるより4月中に3000円以上+5月以降 に3000円以上と分けていただくことです。②につきましては、 4月に次号テレマカシーにて再度ご案内させて頂きます。 ぜひご 協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

● ①へご寄付いただきます際には、同封の専用振込み用紙を ご利用ください。うりぼう口座へのご送金でも結構です。 ※お名前とご住所、匿名のご希望の有無をお知らせください。

<ゆうちょ銀行からのお振込み>

口座番号: 00170-2-441354

口 座 名: うりぼう

<ゆうちょ銀行以外からのお振込み>

店名(店番)019(ゼロイチキュウ)店

当座 口座番号: 0441354 口座名: うりぼう

<書き損じハガキ・切手郵送先>

〒 336-0911 さいたま市緑区三室 636-72

うりぼう代表 吉川かおり

URIŹUN

うりずん日記

うりずん サービス管理責任者 看護師 三上綾子

12月に開催しましたうりずんクリスマス会は、宇都宮市社会福祉協議会「歳末たすけ あい募金配分事業・歳末たすけあい募金 配分」の助成を受けて実施させていただ きました。ありがとうございました。

今回の日記は紙面の関係でお休みです。 うりずんのブログ(うりずんの部屋)を日々更 新していますのでご覧下さい。

http://urizn-info.sblo.jp/

▲楽器で遊ぼうね♪



▲わ~い! サンタと

●2011年10月~12月のご利用状況

区分	10月	11月	12月	合 計
Α	18	16	19	53
В	32	38	53	123
計	50	54	72	176

- * 区分A …… 人工呼吸器装着の方
- * 区分B ········ 人工呼吸器を必要としない方 * いずれも延べご利用人数です

●2011年10月~12月のご来所状況

	10月	11月	12月	合計
見 学 者	10	11	6	27
ボランティア	0	0	2	2
計	10	11	8	29

* ボランティアは延べ人数です

●現在の登録状況

区分A(人工呼吸器装着の方)	4 名
区分B(人工呼吸器を必要としない方)	12 名
合計人数	16 名
契約準備中の方 区分A	0 名
契約準備中の方 区分B	0 名
契約準備中の方の合計人数	0名

* 登録ご利用者の年齢 ……3歳~18歳

●2011年10月~12月の寄付関係

-	75 - 75 - 75 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15		
ご 寄 付	4 件		
ご寄贈品	3 件		





▲おまたせ♪クリスマスプレゼントだよ☆



発電機取り扱い研修です れない 、腰つきですね

第16回「在宅ケア・ネットワーク栃木」

《開催のお知らせ》

日 時 平成24年2月11日(土·祝)10:00~15:20

会場 自治医科大学・地域医療情報研修センター大講堂

テーマ 「頑張れ、地域の市民活動」

-《 メッセージ》

在宅ケアネットワーク・栃木が活動を開始し17年の歳月が流れました。当時、 医療の場は、病院や施設が当たり前で、在宅ケアを推進しようという雰囲気は 市民にも、行政にもありませんでした。

第1回の集いのテーマ「看護婦(当時は看護婦)との連携」が象徴するように、 医師と看護師ですら地域での連携は不十分でした。ところが、平成12年には介 護保険制度が、そして、障害者自立支援法、がん対策基本法と、法制度から在 宅ケア推進がはかられ、地域ケアの普及は、日本の重要な目標となっています。

栃木県でも、地域ケアを推進する数々の市民組織が生まれ、高齢者ケアや障害者ケアの課題解決を核として地域つくりを目指すNPO活動も盛んです。

これらの団体は、主宰者の理念、活動する地域の実情も異なり、構成員の数もさまざまですが、普遍的な哲学を共有していると思います。

そこで、栃木県で地域ケアの推進を目指して活動する団体が一堂に会し、組織と組織の、顔の見える連携を構築することで、さらに、力強く活動できると考えています。 *第16回大会長 太田 秀樹世話人(医療法人 アスムス)

10:00 開会・挨拶 佐々木英昭 (在宅ケアネットワーク栃木 事務局長)

10:15 報告会「看取りまで支える在宅ケアを推進する地域づくり、 これらに貢献している市民的活動を紹介する」

「座長〕 栗本 孝雄 世話人 (いしばしターミナルケア学習会・医療ソーシャルワーカー) ① 在宅ケア・うつのみや ② 在宅緩和ケアとちぎ ③ いしばしターミナルケア学習会 ④ 認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク ⑥ つるカフェ ⑥ とちぎ地域福祉ネット

12:00-12:40 一休憩·昼食-

12:40 アピールの時間 (20分間)

13:00 基調講演「在宅ケアを核として、地域を創る 夕張モデルの紹介」

村上 智彦さん (医療法人財団 夕張希望の杜 理事長)

〔座長〕 粕田 晴之 世話人(在宅緩和ケアとちぎ 医師)

14:00 シンポジウム「頑張れ、地域の市民活動」

伊関 友伸さん(城西大学経営学部 教授)

陣内 雄次さん(宇都宮大学教育学部 教授)

竹内 明子さん(一般社団法人 コープ福祉とちぎ 代表理事)

村上 智彦さん(医療法人財団 夕張希望の杜 理事長)

〔座長〕太田 秀樹 代表世話人

15:20 **主催者・世話人挨拶**(15:30頃終了予定)

*閉会後自由集会(会場は研修センター会議室を予定) 17:00 まで

テレマカシー30号へ 寄せられた感想から

「かつのりくんが、お星さまになりました | について

● ご家族様、皆様の悲しみはいかばかりかとお察しいたします。同時に、うりずんで楽しい時間を過ごしていただいたことが、どれほど貴重なことだったのか、改めて感じています。

…… (中略) ……

高橋先生や三上さんので努力の成果が、少しずつ他の地域に広がっていることを実感します。お子さんにとって大切な時間を、どのように過ごしていただけるのか、そのようなことに心を寄せる看護師が一人でも多く子どものそばにいてくれることを願って、日々の仕事に取り組みたいと思います。 (愛知県 奈良間美保さん)

♥ テレマカシー発送用に切手をお送りくださいました皆さん、ありがとうございました。<(__)>

【参加費】一般 ▶ 1,000 円、学生 ▶ 500 円 (定員 540 名、どなたでも参加できます)

【昼食お弁当】 ▶ 1,000円(お茶付・要申し込み)

【事前申し込み(推奨)】

締め切り▶2012(平成24)年1月31日

*通信欄に申込者住所、参加者全員の氏名、弁当の数を 書き、合計額を下記宛にお送りください。

(郵便振替) 記号番号00180-1-418778 加入者名: 在宅ケアネットワーク栃木

* 当日参加も可能です。

【主催】在宅ケアネットワーク栃木

(事務局) 〒328-0012 栃木市平柳町 2-1-38 電話・FAX: 0282-29-1050 (留守電対応)

E-mail: carenet@cc9.ne.jp http://www.cc9.ne.jp/~carenet/

びばりクリニック」のご案内

時 間 \Box 月 火 水 金 土 木 訪 9:00~12:00 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 休 休 問 診 診 訪 診 訪 療 問 蔄 問 蔄 (在宅医療)

● ひばりクリニックの運営理念 ●

- 1) 在宅で過ごされるご利用者に出前の医療を提供すること
- 2) 子どもからお年寄りまで診る家庭医の機能を提供すること
- 3) 障がい児・者やお年寄りの生活を支える市民活動を支援すること



〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町内357-14 TEL **028-665-8890** FAX **028-665-8899**

E-mail hibari-clinic-01@theia.ocn.ne.jp URL http://hibari-clinic.com/





■この通信は、子どもから大人まで、障がいのある人もない人もどんな人も社会から排除されることなく、地域で一緒に生きていける世の中を目指して、ひばりクリニックが企画・編集しております。この通信についてのご意見・ご感想はひばりクリニックまでお寄せください。